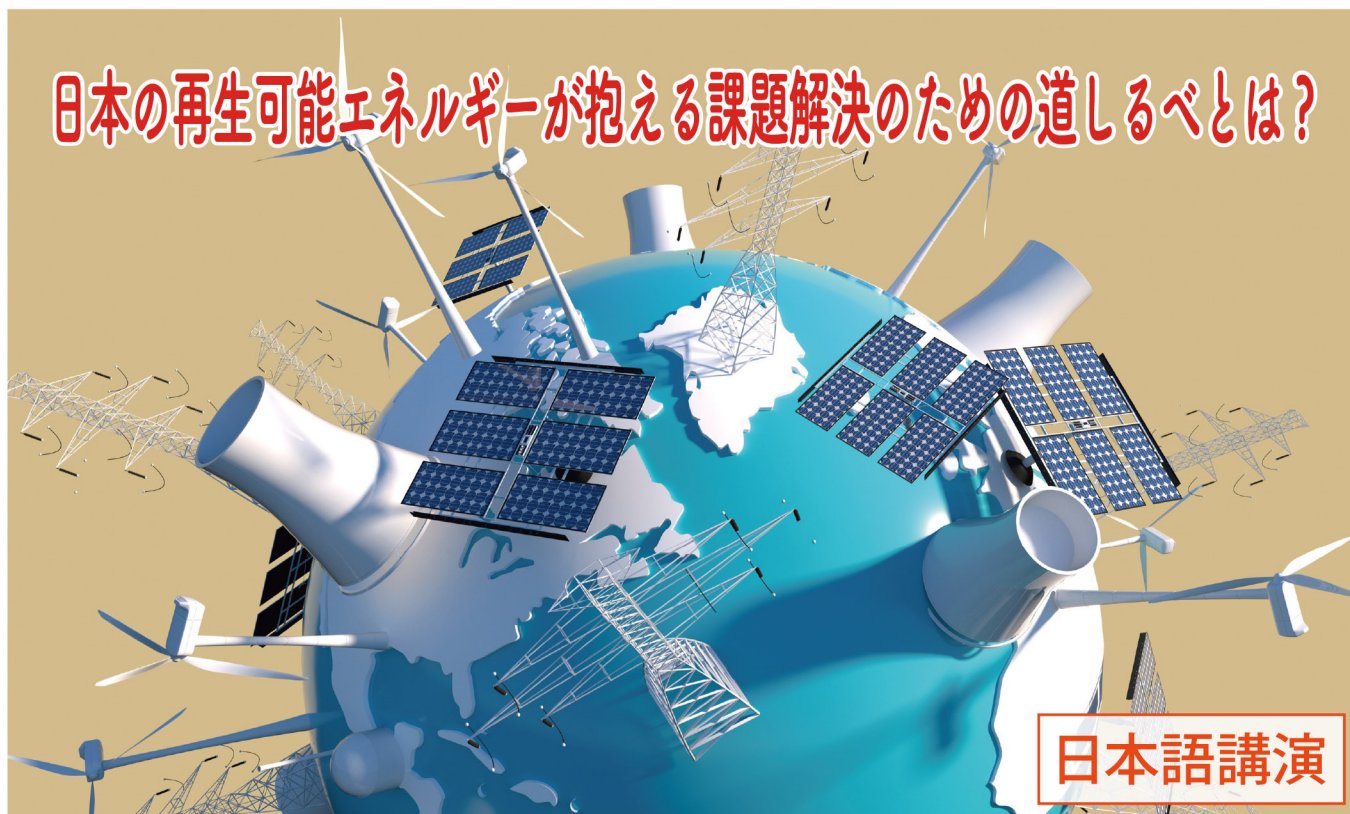


【市民講座】 アンドレアス・シングラー氏講演会

ドイツから学ぶ、 再生可能エネルギーの未来と課題

日本の再生可能エネルギーが抱える課題解決のための道しるべとは？



日本語講演

2019.10.12 SATURDAY

13:30 - 15:30 参加費 500円

サンライフ福島 大研修室

日 時：2019年10月12日（土）13：30～15：30

場 所：サンライフ福島 大研修室（福島市北矢野目檀ノ腰6-16）

参加費：資料代として500円（高校生以下無料）

後 援：福島県教育委員会 福島市 福島信用金庫

申し込み
QRコード



※ お申し込みは、裏面の申し込み用紙を弊法人宛にFAXしていただくか、または下記URLの申込フォームからお申し込みください。

https://fukushima-30year-project.org/?page_id=7862



アンドレアス・シングラー

1961年南ドイツ生まれ。1987年以來フリーランスのジャーナリストとして、スポーツのドーピングや薬物乱用問題などを中心に活動。一方2007年から再びフランクフルト大学で、日本語や日本学を学ぶ。ドイツ人日本学者のジャーナリストとして、日本の原発のこれまでと今後について、また福島の実況や復興の他、再生可能エネルギーについても取材を続けている。



認定NPO法人

ふくしま30年プロジェクト

主催・問い合わせ

福島市飯坂町字一本松11-7 TEL:024-573-5697 FAX:024-573-5698
<https://fukushima-30year-project.org/> info@fukushima-30year-project.org



アンドレアス・シングラー氏講演会

ドイツは、チェルノブイリ原発事故からの流れと東京電力福島第一原発事故の教訓から脱原発に舵を切り、原子力から再生可能エネルギーへと政策の転換を図りました。しかし、日本では数年前に電力自由化が成され、再生可能エネルギーが大手電力以外から選択できるようになりましたが、市民が再生可能エネルギーに対して抱く認識や浸透度については今一步の感があります。

今回の講演会では、再生可能エネルギーの先進国となったドイツの事例について現地のジャーナリストから学ぶ機会とし、エネルギーシフトの先行事例と日本国内での課題について考えます。

【講演プログラム】

1. ドイツの脱原発への道とエネルギーシフトの今
2. チェルノブイリ原発事故がドイツに与えた影響
3. 欧州連合の原子力発電の現状
4. ヨーロッパの高校生、若者たちの環境運動
＜未来の為の金曜日＞は政治を変える
5. 原発が子どもに及ぼした癌リスク

サンライフ 福島



 認定NPO法人 福島30年プロジェクト

【講演会参加お申込書】

ご氏名	ふりがな	電話	
		メール	

FAX 送信先

024 - 573 - 5698

↓ 下記 URL、QR コードのページからの申し込みも可能です。

https://fukushima-30year-project.org/?page_id=7862

申し込み
QRコード

